



# CUC 千葉商科大学

Chiba University of Commerce

## NEWS LETTER

-Vol.17- 2008 / 12 / 1 発行

千葉商科大学 (CUC) は 2 月、創立 80 周年を迎えました。

これを機に、私たちは教育・研究、地域連携、国際交流などさまざまな側面で行われている CUC の活動、「実学教育」のさらなる充実を目指した戦略的な取り組みなどの最新情報を、日ごろご支援いただいている皆さまに「千葉商科大学ニューズレター」としてお伝えしています。

原則として毎月月初にお届けいたします。

ニューズレターの全文や記事の詳細は、本学 Web サイトに掲載されています。

<http://www.cuc.ac.jp/>

◆ご意見、ご要望をお寄せ下さい◆

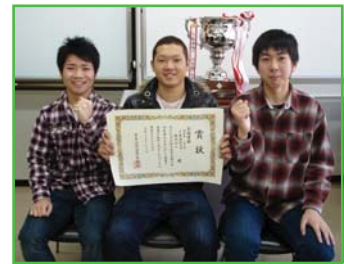
発行者  
千葉商科大学  
学長事務室  
(戦略広報係)

TEL  
047-372-4111(代)  
FAX  
047-373-9969  
E-mail  
p-office@cuc.ac.jp

実学の府を証明!!

### 全国大学対抗簿記大会で団体戦・個人戦、優勝制覇!!

平成 20 年 11 月 8 日に開催された「2008 年秋季全国大学対抗簿記大会」(資格の大原 大原大学院大学主催、イタリア大使館、日本公認会計士協会、毎日新聞社後援。全国 118 大学が参加)において、団体戦 1 級の部で、本学「瑞穂会/A チーム」鈴木達也さん(商学科 3 年、千葉商業高校出身)、ニタ見英行さん(経営学科 3 年、八街高校)、秋葉隆道さん(商学科 2 年、東金商業高校出身)が見事優勝の栄冠を勝ち取りました。同団体戦では「瑞穂会/B チーム」桐生和明さん(商学科 3 年、五泉高校出身)、布施健太さん(商学科 3 年、銚子商業高校出身)、石山淳さん(経営学科 3 年、銚子商業高校出身)も 9 位に入賞しました。さらに、個人戦 1 級の部においても秋葉隆道さんが満点での優勝、ニタ見英行さんが準優勝と、本学学生が上位を独占。続いて、8 位には鈴木達也さん、12 位に石山淳さんらが入賞し、素晴らしい大会成績をおさめ、本学の「実学教育」の成果が証明された結果となりました。優勝した秋葉さんからのコメントを裏面でご紹介していますので、是非ご覧下さい。



団体戦 1 級の部に見事優勝!!  
(左から)ニタ見さん、秋葉さん、鈴木さん

## Column

### CUC の学生たちが活躍しています!



学長 島田晴雄

トップ記事でもご紹介しました通り、去る 11 月 8 日「2008 年秋季全国大学対抗簿記大会」で千葉商科大学が、118 大学、3,157 名が参加した中で、団体ならびに個人で優勝しました。個人優勝は秋葉隆道君で、ルカ・パチョーリ賞が授与されました。団体の優勝をはじめ入賞者は、本学で岩本慶道先生らの特別な簿記教室「瑞穂会」で日夜修練を積んできた人達です。また、平成 20 年度公認会計士試験では、現役生・OB を合わせて 4 名の合格者を輩出し、見事な成果をあげました。これは、実学、とりわけ商学を得意とする千葉商科大学の面目躍如たるものがあります。

このコラムで度々ご報告をしてきたサービス創造学部は、これまでの入学審査過程で募集定員を充たす目処がほぼたちましたが、今後も熱意ある優秀な学生諸君の受け入れを進めていこうと考えています。サービス創造学部は、各分野で優れたサービスを提供している「公式サポーター企業」と協力してカリキュラムを編成していきませんが、このほど企業の方々と、学部の専任スタッフが一緒にその構想を練る「サービス創造研究会」を開始しました。来春からの開講をめざして関係者一同大いに盛り上がりしておりますので、どうかご期待下さい。また、サービス創造学部では、「あったらいいな、こんなサービス」というユニークなサービスをご提案して下さる方々に「サービス創造大賞」を差し上げるべく、アイデアを募集しています。12 月 31 日が締切ですので、どうぞ奮ってご応募下さい。詳細は Web サイトをご覧ください。

本学の内外で価値ある情報を共有するためのユニバーシティ・アワーは、10 月から開始され、市川市の千葉光行市長の講演、アジア学生交流会議参加諸君の報告と表彰、CUC アライアンス企業との交流会、新学部の説明会、環境への取組の紹介などが行なわれました。さらに、12 月 12 日には地域社会との連携プログラムをテーマに行ないます。皆様のご参加をお待ちしています。

## 祝!! 団体・個人戦優勝!! 2008年秋季全国大学対抗簿記大会

個人戦1級優勝/団体戦1級優勝 [瑞穂会Aチーム]  
 ■秋葉 隆道さん 商学科2年(東金商業高校出身)



高校時代に日商簿記2級を取得し、大学で瑞穂会に入り毎日のように日商簿記1級取得のため努力しました。今回の出場は、大会の後に控えている検定にむけての力試しのようなものでもありました。ですが、やはり出場するからには優勝し

たいという気持ちがとても強く、力の限りやりました。団体戦では、自分がミスをするとう団体の順位にも支障をきたすので、いつもとはまた違ったプレッシャーを感じました。優勝したとわかった時は、いつもよりも喜びは倍増しました。また、個人戦でも1位を獲ることができ、ルカ・パチョーリ賞をいただけて、本当に簿記をやっていてよかったと思いました。  
 ※ほか入賞者のコメントは、Webサイトをご覧ください。

## 平成20年度公認会計士試験合格!! 現役商大生ら4名!!

◇Y.Iさん 商学科 高校時代に日商簿記1級を取得し、将来、就職する際に簿記の知識を生かそうと思い、公認会計士をめざしました。2年次に受けた税理士試験で簿記論と財務諸表論に合格し、公認会計士短答式試験の一部科目免除が得られました。日曜は9時間、日曜以外は12時間勉強し、毎日頑張った結果、合格することができました。

◇木幡 幸治さん 商学科2008年3月卒(幕張総合高校出身) 何回も挫折しそうになりましたが「必ず受かるんだ!!」という強い意志のもと、大学3年次11月のスタートから2年弱で合格できました。持つべきは、「確固たるモチベーション」です!これから公認会計士をめざす皆さん、是非とも頑張ってください!!

◇H.Tさん 会計ファイナンス研究科2007年3月卒

◇遠藤 朝彦さん 会計ファイナンス研究科2007年3月卒(政策情報学科2005年3月卒、北豊島高校出身) 政策情報学部時代に簿記と出会い、勉強をしていくうちに「会計」の最高峰である公認会計士に強い憧れを抱くようになりました。今年試験に合格したことによってようやく公認会計士になるためのスタート地点に立つことが出来ました。今後は、会計プロフェッションとして、また、会計ファイナンス研究科の卒業生として恥ずかしくない公認会計士をめざし自己の研鑽に努めていきたいと考えています。

※合格者のコメントは、Webサイトをご覧ください。

## 島田晴雄が東大とコラボレーション! 晴耕塾「知の発信」第2期のステージへ

「知の発信」に重きをおきながら、異業種間の交流による新たな価値創造をめざして設立された島田学長主催の会員制セミナー「晴耕塾」(会場:丸の内サテライト「Galleria 商.Tokyo」)は、10月に第1期リーダーシッププログラムを終え、来る12月11日(木)より第2期プログラムを開講いたします。各講師の豊富な経験に基づく経営哲学やリーダーシップ論、時流を逃さない質の高い講演は、自己啓発や人材育成の機会として、好評を得ています。また、平成21年1月からは、晴耕塾2種類目のプログラムとして、島田学長と東京大学教授・サステイナ

ビリティ学連携研究機構(IR3S)副機構長の武内和彦教授との協同企画「サステイナビリティ・プログラム」を開催致します。各セッションでは、学術界、産業界から各分野の第一人者をそれぞれ講師に迎え、気候変動の緩和策・適応策の推進、3Rの推進による循環型社会の形成、人間と自然が共生する社会の形成などを通じた持続可能な社会づくりをめざした取り組みについて、広範な講義を展開します。詳細は Web サイトをご覧ください。晴耕塾へのお問い合わせは、学長事務室戦略企画係 (TEL: 047-372-4111)までお願いいたします。

### お知らせ

- ユニバーシティ・アワーの実施予定 ... 12/12(金)「地域とともに歩むCUC」、2009/1/23(金)「学生表彰」
- 出願情報 商経学部/政策情報学部/サービス創造学部 ... 詳細は、入試広報課までお問い合わせ下さい。

政策情報学部では毎週月曜日の2限に1年生全員の必須科目として「政策情報学概論」を設置しています。社会の動きをさまざまな視角から眺めてみようというコンセプトで、秋学期はいろいろな分野で活躍しているその道のプロに「現場からの報告」として講演していただいています。11月17日には埼玉県の上田清司(うえだきよし)知事が登場し、「埼玉県の政治改革」の苦心と成果をわかりやすく講義されました。上田知事によると、行政をすすめるうえでもっとも大事なことは「事実を知ること」。「統計も総数でみるのか人口

教室から

政策情報学概論

埼玉県 上田知事が 学生に熱弁



人当たりでみるのかで違ってくる。そこで見えてきた事実をもとに具体的な改善目標を立てる。県職員や住民の意識改革にも力を入れている」とのこと。例えば住民のボランティアによる防犯隊を大量に組織した結果、犯罪件数が目に見えて減り、また行政部門の県民当たりの職員数が全国最小となった、など成果も着実に出来ているということでした。知事の熱弁に学生たちも吸い込まれるように聞き入っていました。

(政策情報学部教授 内田茂男)